

- 働く場所をつくる
 - 住みよい環境をつくる
 - 住む場所をつくる
 - 愛する心を育成する
- を4つの政策の柱として、今年度も人口減少対策に引き続き取り組みます。

令和8年度

施政方針と予算の概要

令和8年度の施政方針の主な内容をお知らせします。施政方針とは、町政運営に対する町長の考えや主要な施策を明らかにするものです。

昨年は城里町が町制施行20周年を迎え、記念式典や記念コンサートなどが盛大に開催され、町民の皆様とお祝いをする事ができました。そして、11月末には水戸ホーリーホックがJ2優勝とJ1昇格という形で、城里町20周年のお祝いとアツマーレ建設の恩返しをして頂きました。

これまで、J1へと昇格をしてきた多くのチームが、豊富な資金力で即戦力の外国人や元日本代表の有名選手を揃えるという戦略であったのに対して、水戸ホーリーホックは、高卒・大卒で採用した若い日本人選手を一流に育てあげることによって優勝を勝ち取りました。これは、「若者に優れた練習・教育環境を提供し、チャンスを与えて育成し、優れた指導者の下で一致結束すれば、偉業を達成することができる」ということを世に示しました。

このような意味で、今回の水戸ホーリーホックの優勝はサッカー界にとどまらない特別な意義を持ち、広く茨城県民に勇気と希望を与えました。水戸ホーリーホックの優勝に啓発され、若者を教育しチャンスを与えようとする企業な

どが増えたとしたら、こんな嬉しいことはありません。そして、このような偉業の達成に、城里町として深く関わることができたのは誇らしく、アツマーレの建設から維持管理に至るまで、ご理解・ご協力を頂いた城里町民の皆様、議会議員の皆様にも深く感謝を申し上げます。

10年前、水戸ホーリーホックがJ2で優勝し、J1に昇格することを本気で信じていた人は多くなかったことでしょう。しかし、それは実現しました。10年後、水戸ホーリーホックがJ1でも優勝し、日本を代表するプロサッカーチームになるかもしれません。そのことを期待し、アツマーレをJ1トップクラブにふさわしい施設へとさらに充実させていきます。そのために、本年度は改修基本計画の策定に取組みます。

また、本年度はいよいよ「新道の駅かつら」が8月末までに竣工し、9月中旬のリニューアルオープンが予定されています。建物規模が倍以上になることから、売上げも倍以上を目指しており、積極的に従業員の採用を行ってまいります。ぜひ「道の駅かつら」に来てく



城里町長 上遠野 修

ださい。既に若い従業員が増えていることに気づくはずですが、城里町で生まれ育った若者が、道の駅かつらで元気よく働いている姿に勇気づけられます。現代的に洒落に生まれ変わろうとしているからこそ、道の駅かつらが職場として若者を惹きつけているのです。9月の開業に向けて、まだまだ人手が不足しています。道の駅かつらは、積極的に人材を採用して「働く場所」を町民に提供するとともに、農業の振興および観光の拠点となることを目指します。

さて、令和8年度予算は、一般会計が11億1千9百万円となり、前年比21億6千9百万円の大幅な減少となりました。「道の駅かつら建築工事」に係る費用が今年度は予算に含まれておらず、また今夏の町長選挙を控えて新規事業を抑制したことから、昨年と比べて緊縮的な予算となっています。

結びとなりますが、今後とも町民との対話、町民との協働を図りながら、まちの将来像である「人と自然が響きあいつともに輝く住みよいまち」づくりの実現に向け、全力で取り組んで参ります。